

第 99 回日本生化学会大会・第 49 回日本分子生物学会年会 合同大会 (BMB2026) 開催のお知らせ (その 2)

会 期：2026 年 12 月 1 日 (火) ～4 日 (金) ※現地開催 (一部、オンデマンド配信あり)
会 場：パシフィコ横浜
大 会 長：第 99 回日本生化学会大会 会 頭 胡桃坂 仁志 (東京大学定量生命科学研究所)
第 49 回日本分子生物学会年会 年会長 水島 昇 (東京大学大学院医学系研究科)
演 題 登 録 期 間：2026 年 6 月 15 日 (月) ～7 月 14 日 (火) ※予定
早 期 参 加 登 録 期 間：2026 年 6 月 15 日 (月) ～9 月 30 日 (水) ※予定
大 会 事 務 局 連 絡 先：BMB2026 運 営 事 務 局 (㈱エー・イー企画 内)
〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋 2-4-4 一ツ橋別館 4 階
Tel: 03-3230-2744 Fax: 03-3230-2479 E-mail: bmb2026@aeplan.co.jp
大 会 ホ ム ペ ー ジ：https://www.aeplan.jp/bmb2026

【大会長の挨拶 その 2】

第98回日本生化学会大会 (京都、昨年11月) は岩井一宏会頭と幹事の皆様のご尽力により、第48回日本分子生物学会年会 (横浜、昨年12月) は小林武彦年会長と組織委員の皆様のご尽力により、いずれも盛会にて終了しました。京都の生化学会大会では3名のノーベル賞受賞者をお迎えして、日本生化学会創立100周年の記念式典・講演会が行われ、盛大な打ち上げ花火が華を添えました。寒くなり始めた京都が熱気に包まれたような素晴らしい大会でありました。一方横浜の分子生物学会年会では、新企画のマッチング企画から最終日の市民公開講座でのバンド演奏まで、こちらも熱気に溢れた素晴らしい年会でした。マッチング企画「このゆび、と一まれっ」では、連日、大勢の参加者がポスター会場に集い、新たな交流のネットワークを広げていました。両大会の参加者数はのべ一人を超える盛況ぶりです。コロナ以前の活気が完全に復活いたしました。

さて、2026年は合同大会「BMB2026」として、第99回日本生化学会大会と第49回日本分子生物学会年会を融合して2026年12月1日 (火) ～4日 (金) の4日間、パシフィコ横浜にて開催されます。BMB2026では「共鳴 (Resonance)」を大会テーマとしています。また、日本生物物理学会との連携企画も実施予定です。さまざまな分野の研究者が出会い共鳴し合い、より大きな交流ネットワークの構築がえられる場の創出を目指します。マッチング企画も行う予定です。また、ジャーナルの元編集者による論文執筆公開講座や、若手研究者のキャリア形成を支援する企画など、両学会の次世代の研究者育成のための取り組みも計画しています。

是非とも横浜に現地集合いただき、全ての世代の研究者が喜びを分かち合い、新たなネットワークを構築することを応援したいと思います。横浜でお会いしましょう！

2026年2月

第 99 回日本生化学会大会 会 頭 胡桃坂 仁志 (東京大学定量生命科学研究所)
第 49 回日本分子生物学会年会 年会長 水島 昇 (東京大学大学院医学系研究科)

Thanks to the dedicated efforts of President Kazuhiro Iwai and the members of the Executive Committee, the 98th Annual Meeting of the Japanese Biochemical Society (Kyoto) was successfully held last November. Likewise, through the great efforts of President Takehiko Kobayashi and the Organizing Committee, the 48th Annual Meeting of Molecular Biology Society of Japan (Yokohama) concluded successfully last December.

In Kyoto, three Nobel Prize laureates joined us for the commemorative ceremony and lectures celebrating the 100th anniversary of the Japanese Biochemical Society, accompanied by a

spectacular fireworks display that added to the festive atmosphere. It was a truly outstanding meeting, where the crisp early-winter air of Kyoto seemed to be filled with enthusiasm and excitement.

Meanwhile, the Yokohama meeting was equally vibrant, from the new matching program to the band performance at the public outreach lecture on the final day. The matching program entitled “Kono Yubi, Tomare!” was introduced. Each day, large numbers of participants gathered in the poster hall, expanding networks of new interactions and collaborations.

Both meetings enjoyed remarkable attendance, with a combined total exceeding 10,000 participants, demonstrating that the lively atmosphere seen before the COVID-19 pandemic has fully returned.

Looking ahead to 2026, the joint meeting “BMB2026” will bring together the 99th Annual Meeting of the Japanese Biochemical Society and the 49th Annual Meeting of the Molecular Biology Society of Japan. The meeting will be held over four days, from Tuesday, December 1 to Friday, December 4, 2026, at Pacifico Yokohama. The theme of BMB2026 is “Resonance.” Collaboration with the Biophysical Society of Japan is also planned.

By providing a venue where researchers from diverse fields can meet and resonate with one another, we aim to foster the creation of broader and stronger networks of scientific exchange. We are also planning a matching program. In addition, we are preparing initiatives to nurture the next generation of researchers from both societies, including open lectures on scientific writing by former journal editors and programs to support career development for early-career scientists. We strongly hope that researchers of all generations will gather in person in Yokohama, share the joy of scientific discovery, and build new networks together. We look forward to seeing you in Yokohama!

February 2026

President, The 99th Annual Meeting of the Japanese Biochemical Society:
Hitoshi Kurumizaka (The University of Tokyo)

President, The 49th Annual Meeting of the Molecular Biology Society of Japan:
Noboru Mizushima (The University of Tokyo)

【大会組織】

〈大会長〉

第99回日本生化学会大会 会頭 胡桃坂 仁志 (東京大学定量生命科学研究所)

第49回日本分子生物学会年会 年会長 水島 昇 (東京大学大学院医学系研究科)

〈プログラム幹事〉

プログラム委員長 後藤 由季子 (東京大学大学院薬学系研究科)

プログラム副委員長 東山 哲也 (東京大学大学院理学系研究科)

プログラム副委員長 東原 和成 (東京大学大学院農学生命科学研究科)

【プログラム概要】

➤ 現地開催 (12月1日(火)～12月4日(金))

スペシャルシンポジウム 1企画、大会企画シンポジウム 3企画、公募シンポジウム約 200企画、フォーラム、一般口頭発表、ポスター発表、サイエンスピッチ (ショートトーク)、高校生発表、市民公開講座

開催形式：本大会は現地開催のみとなります。

※一部シンポジウムのみオンデマンド配信を予定しております。

◆ スペシャルシンポジウム「BMB2026 Special Symposium」

スペシャルシンポジウムは、世界をリードするさまざまな分野のスピーカーをお招きし、それぞれの専門領域における最前線の研究成果や展望をお話しいただく特別企画です。

開催日時：2026年12月3日(木) 9:00-12:20 (予定)

オーガナイザー：水島 昇 (東京大学)、胡桃坂 仁志 (東京大学)、
後藤 由季子 (東京大学)、東原 和成 (東京大学)

演 者：山下 由起子 (Whitehead Institute/MIT/HHMI)、柳沢 正史 (筑波大学)、
Feng Zhang (The Broad Institute)、David Julius (University of California)

◆ 大会企画シンポジウム「BMB2026 Symposium」(3企画予定)

大会企画シンポジウムは、以下3企画の開催を予定しております。

1. 巧みな分子マシンが拓く生命科学の新フロンティア / Ingenious Molecular Machines: Expanding Frontiers in the Life Sciences

開催日時：2026年12月1日(火) 9:00-11:00 (予定)

オーガナイザー：胡桃坂 仁志 (東京大学)

演 者：胡桃坂 仁志 (東京大学)、沈 建仁 (岡山大学)、
岡田 康志 (理化学研究所)、山下 敦子 (大阪大学)

In this symposium, we will explore groundbreaking research on molecular machines that operate at the nanoscale to orchestrate life. Presentations will delve into the functional regulation of motor-driven intracellular transport, photosynthesis, sensory receptors, and protein complexes on chromatin. These innovative studies offer remarkable insights into the intricate machinery of life at the molecular level.

2. 命の始まりから終わりまで～細胞運命の制御～ / The Journey of Life: Regulation of Cellular Fate from Beginning to End

開催日時：2026年12月2日(水) 9:00-11:00 (予定)

オーガナイザー：後藤 由季子 (東京大学)

演 者：西村 栄美 (東京大学)、林 克彦 (大阪大学)、
Kenneth Zaret (University of Pennsylvania)、杉本 慶子 (理化学研究所)

Understanding how cells acquire, maintain, and eventually lose their identity is fundamental to decoding the entire arc of life—from its inception to aging. In some contexts, cells also exhibit remarkable regenerative potential, allowing tissues to repair or renew themselves. This symposium brings together leading researchers who explore cell fate regulation across different biological systems, life stages, and regenerative processes, using a wide range of approaches.

3. 基礎研究から疾患制御に向けて / From Basic Research to Disease Control

開催日時：2026年12月4日(金) 9:00-11:00 (予定)

オーガナイザー：水島 昇 (東京大学)

演 者：中山 敬一 (東京科学大学)、本田 賢也 (慶應義塾大学)
柚崎 通介 (慶應義塾大学)、柳田 素子 (京都大学)

Recent advances in basic research are rapidly narrowing the gap between fundamental science and clinical application. Increasingly, the development of effective therapeutic strategies depends

on a deep understanding of core biological processes. In this symposium, leading researchers from diverse fields will present groundbreaking approaches that connect fundamental discoveries with translational impact.

◆ **公募シンポジウム (約 200 企画予定)**

多数のご応募をいただき 1 月 30 日に募集を締め切りました。採否結果は 3 月下旬に応募者へ通知予定です。

◆ **一般演題 (ポスター・一般口頭発表・サイエンスピッチ)**

演題登録受付期間：2026 年 6 月 15 日 (月) ～7 月 14 日 (火)

※登録受付期間にご注意ください。

採択された全ての一般演題は、ポスター発表を行っていただきます。

また、一般口頭発表・サイエンスピッチへの採択希望を募り、審査のうえ採択された演題については口頭での発表も行っていただきます。演題申込みに関する詳細は、次回会報および決定次第合同大会ホームページにてお知らせいたします。

なお、演題の登録には、日本分子生物学会または日本生化学会・日本生物物理学会のいずれかの会員であることが必要です。未入会の方はお早めに入会手続きをお済ませください。多数の演題投稿をお待ちしております。本大会では一人一演題の登録を原則とし、複数演題発表は認められません。

◆ **高校生発表**

最終日午後 (12 月 4 日 (金)) に、高校生による研究発表を予定しています。

◆ **フォーラム**

4 月より日本分子生物学会の会員の皆様からの企画公募を予定しております。後述の募集要項を参照の上、奮ってご応募ください。

◆ **ランチョンセミナー**

企業との共催によるランチョンセミナーを開催いたします。

◆ **その他の企画**

海外学会コラボ企画、両学会共同企画などの開催を予定しています。詳細は決定次第、合同大会ホームページにてご案内いたします。

その他の企画は詳細が決まり次第、合同大会ホームページにてご案内いたします。

【フォーラム企画の公募について (応募締切：2026 年 5 月 15 日 (金) 17:00)

生命科学と関連するが、シンポジウム形式にとらわれない、比較的自由度の高い企画や、技術開発あるいは社会との関連が深い企画を「フォーラム」と位置づけ、1 テーマ 90 分の時間枠 (12/1、12/2、12/3 18:45～20:15) で、会員の皆様より企画を公募します。

※シンポジウム夜枠と同時進行での開催となります。

※現地開催のみとなります。

学術変革領域、CREST、さきがけ等の「冠」企画の実施も可能とします。

- ・ 演者選定：班会議と同様の企画にならないよう、領域外の演者を必ず含めてください。
- ・ 協賛金：会場費や広告費等として 25 万円 (税込) の協賛金の負担をお願いいたします。(ホームページやプログラム集に冠表記を記載いたします。

※時間枠による金額の変更はございません。)

※2 団体目以降は、スポンサー同士の了解が得られている事を条件とし、以下の負担金額とします。

2 団体：40 万円（1 団体あたり 20 万円）

3 団体：45 万円（1 団体あたり 15 万円）

4 団体以上：ご相談ください

◆ 応募要領

大会ホームページより専用の応募サイトにアクセスし、5 月 15 日（金）17:00 までに下記の必要情報をご登録ください。

- 1) 開催言語（日本語 or 英語・オーガナイザーが選択）
- 2) タイトル（和文・英文 必須）
- 3) オーガナイザーの氏名・所属（和文・英文）・年代・職位・性別・会員種別
※ 企画提案いただくオーガナイザーは 1 名でも 2 名でも構いませんが、分子生物学会または生化学会の会員であることが必須です。
- 4) 概要（文字数）：使用言語に応じて日本語（全角 400 文字程度）あるいは英語（半角 800 文字程度）のいずれか
- 5) 予定演者の氏名・所属・職位（および、知りうる限りで、年代、性別）・会員種別・内諾の有無
- 6) 連絡窓口となるオーガナイザーの氏名、連絡先
- 7) 予想される聴衆数
- 8) 冠の有無、団体名
- 9) 希望日程

※企画の採否ならびに開催枠の割振りはプログラム委員会で最終決定いたしますので、希望に沿えない可能性もございますこと、ご了承ください。

◆ お問い合わせ先

BMB2026（第 99 回日本生化学会大会・第 49 回日本分子生物学会年会 合同大会）事務局
（株）エー・イー企画 内）

〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋 2-4-4 一ツ橋別館 4 階

Tel: 03-3230-2744 Fax: 03-3230-2479 E-mail: bmb2026@aeplan.co.jp

【日程表 (予定)】

	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	
12/1 (火)			大会企画シンポジウム (120 min) 9:00-11:00	シンポジウム (90 min) 11:15-12:45		ランチョンセミナー (50min) 12:55-13:45					シンポジウム (90 min) 17:00-18:30	シンポジウム/ フォーラム (90 min) 18:45-20:15			
			シンポジウム (120 min) 9:00-11:00			分子生物学会 キャリアパス 委員会企画 (60min) 12:55-13:55			サイエンスピッチ (45min) 14:00-14:45	ポスター発表・討論 (120min) 14:45-16:45					
		ポ 貼 ス 付 タ !						展示会見学 14:00-14:45							
		機器・試薬・書籍展示 10:00-17:00													
12/2 (水)			大会企画シンポジウム (120 min) 9:00-11:00	シンポジウム (90 min) 11:15-12:45		ランチョンセミナー (50min) 12:55-13:45					シンポジウム (90 min) 17:00-18:30	シンポジウム/ フォーラム (90 min) 18:45-20:15			
			シンポジウム (120 min) 9:00-11:00			分子生物学会 キャリアパス委員会 企画/ジャーナルラ ンチョン (60min) 12:55-13:55			サイエンスピッチ (45min) 14:00-14:45	ポスター発表・討論 (120min) 14:45-16:45			分子生物 学会総会 (60min) 18:45- 19:45		
		ポ 貼 ス 付 タ !						展示会見学 14:00-14:45							
		機器・試薬・書籍展示 10:00-17:00													
12/3 (木)			スペシャルシンポジウム (200 min) 9:00-12:20	シンポジウム (90 min) 11:15-12:45		ランチョンセミナー (50min) 12:55-13:45					シンポジウム (90 min) 17:00-18:30	シンポジウム/ フォーラム (90 min) 18:45-20:15			
			シンポジウム (120 min) 9:00-11:00			分子生物学会 研究倫理委員会ラ ンチョン/生化学会 若い研究者の会 (60min) 12:55-13:55			サイエンスピッチ (45min) 14:00-14:45	ポスター発表・討論 (120min) 14:45-16:45					
		ポ 貼 ス 付 タ !						展示会見学 14:00-14:45							
		機器・試薬・書籍展示 10:00-17:00													
12/4 (金)			大会企画シンポジウム (120 min) 9:00-11:00	シンポジウム (90 min) 11:15-12:45		ランチョンセミナー (50min) 12:55-13:45					シンポジウム (120 min) 17:00-19:00				
			シンポジウム (120 min) 9:00-11:00			生化学会 タイバー シティ推進ランチョ ン (60min) 12:55-13:55			サイエンスピッチ (45min) 14:00-14:45	ポスター発表・討論 + 高校生発表 (120min) 14:45-16:45			市民公開講座 (120 min) 17:00-19:00		
		ポ 貼 ス 付 タ !						展示会見学 14:00-14:45			ポ ス タ !				
		機器・試薬・書籍展示 10:00-16:45													

※あくまで2026年2月時点での予定であり、今後変更される可能性があります